

泥土リサイクル協会／東京都八王子市で泥土処理施設見学会開く／推奨技術の優位性確認

日刊建設工業新聞 2025/05/02

泥土リサイクル協会（木村孟理事長）は、高含水泥土処理の見学会を4月17日に東京都八王子市で開いた＝写真。ゼネコンなど多くの関係者が参加。高含水状態の土砂を短時間で粒状固化処理する様子などを見て回った。

首都圏の工事では、大量に発生する建設発生土や建設汚泥の処分先が不足している。同協会の会員企業で中間処理業者の芳村石産（東京都八王子市、芳村尚之社長）は、泥土処理装置と流動化処理装置を八王子市の北西部にある美山事務所に導入。軟弱土砂や建設汚泥を再資源化し埋め立て材として活用する事業を展開している。

見学会では、公共工事などで排出された建設発生土や建設汚泥の処理方法を公開した。高含水泥土に会員企業である材料メーカーらの高分子凝集剤などを混ぜると、わずか30秒程度で粒状に固化。協会が推奨する技術の優位性を実際に確認した。

当日は協会担当者が「建設汚泥の再資源化」「高含水泥土の安定処理と含水比調整」についてレクチャーし、均一な品質を確保する混合攪拌（かくはん）技術と要求品質に応じた固化剤選定の重要性を訴えた。同協会は会員相互の協力・連携体制を構築し、高品質な泥土処理の実現を目指している。



 | DOW JONES